

ダットスキャン静注 併用注意薬の休薬について

ダットスキャン静注には併用禁忌と明記された薬剤はありません。しかし、ダットスキャン静注と同様にドパミントランスポーター(DAT)に結合する薬は集積に影響を与える可能性が、線条体の背景組織に発現するセロトニントランスポーターに作用する薬は読影に影響を与える可能性が、それぞれあります¹⁾。この一覧をご確認の上、ご施設における休薬期間についてご検討ください。製品名については、先発品を中心に、一部のみの記載となっておりますのでご了承ください。

(表 1) ヨーロッパでの DAT イメージングガイドラインや文献で推奨される休薬期間

★添付文書上「併用注意」となっている薬剤²⁾

薬剤区分	薬剤名	製品名	血中半減期($t_{1/2}$) ^{*2}	ガイドライン・文献での休薬推奨期間	予測される影響
★ 選択的セロトニン再取込み阻害薬(SSRI)	フルボキサミン	デプロメール錠、ルボックス	14.11 時間	5 日 ³⁾	線条体と背景組織における集積比の上昇
	パロキセチン	パキシル	14.98 時間	5 日 ³⁾	
	セルトラリン	ジェイゾロフト	23.4 時間	6 日 ³⁾	
	エスタロプラム ^{*1}	レクサプロ錠	27.4 時間	8 日 ³⁾	
★ 中枢神経刺激剤	メチルフェニデート	リタリン	2.7 時間	1-2 日 ³⁾ 、 $t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾ 、 2 日で影響なし ⁷⁾	線条体における集積低下
		コンサータ錠	3.6 時間		
★ (第二世代)三環系抗うつ薬	アモキサピン	アモキサン	8 時間	記載なし	
★ 食欲抑制剤	マジンドール ^{*3}	サノレックス錠	9 時間	3 日 ³⁾ 、 $t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾	
★ コカイン系製剤	コカイン塩酸塩	コカイン塩酸塩「シオノギ」原末	不明	2 日 ³⁾ 、 $t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾	
		コカイン塩酸塩「タケダ」原末	不明	参考) 数週間 ⁵⁾ の休薬を行った臨床報告あり	
★ 中枢興奮剤	メタンフェタミン塩酸塩	ヒロポン	8.46 時間	7 日 ³⁾ 、 $t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾	
精神神経用剤	モダフィニル	モディオダール錠	14.78 時間	3 日 ³⁾ 、 $t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾ 、7 日で影響なし ⁸⁾	
血管収縮・血圧上昇剤 ^{*4}	アドレナリン、ノルアドレナリン	エピペン、ボスミン、ノルアドレナリン注	不明	$t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾	
オピオイド(麻酔・鎮静剤)	フェンタニル ^{*5}	タラモナル、フェンタニル	3.6 時間	$t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾	
麻酔薬	ケタミン	ケタラール	不明	$t_{1/2}$ の 5 倍以上 ⁶⁾	
	イソフルラン	フォーレン(吸入)	1 相-2.2~2.8 分 2 相-50.2~51 分		

*1: SSRI のうち、エスタロプラムのみ添付文書には記載がないが、文献等で報告がある。

*2: 最高包装単位の単回投与時の値。

*3: 海外では抗うつ薬として利用。

*4: 高用量の時に影響が出やすい。

*5: 静注剤のみ記載。他に、アブストラル(舌下錠)、イーフェンバカル(錠)、デュロテップ(パッチ)、フェントステープ(テープ)、ワンデュロパッチ(パッチ)等もある。